

バイトルトーク、サービス開始から1年で ユーザー数9万人・導入社数3,000社9,000店舗導入突破

新機能「シフト作成機能」を無料提供開始

株式会社アイリッジ（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田 健太郎、東京証券取引所グロース：3917、以下「アイリッジ」）は、ディップ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長兼 CEO：富田 英揮、以下「ディップ」）と共同で開発した店舗管理者とアルバイト従業員のコミュニケーションを改善するサービス「バイトルトーク」が2025年2月のサービス開始から1周年を迎え、3,000社9,000店舗導入を果たしたことをお知らせします。

また、本サービスは2026年2月24日より新機能「シフト作成機能」を提供開始したことを合わせてお知らせします。「シフト作成機能」では、店舗管理者の業務の効率化を図るとともに、将来的な法令改正も見据えた適切な店舗運営を支援してまいります。



現在、労働基準法改正に向け、「週44時間の特例廃止」「勤務間インターバル制度の義務化」「13日超の連続勤務禁止」などが議論・検討されています。今後、労働時間の各種制限がかかることで、これまで以上にシフト作成が困難となり、法令違反とならないようにシフト管理を徹底する体制づくりが企業に求められる可能性があります。

このような動向を踏まえ、企業の法令順守を支援するとともに、店舗管理者が抱える負担軽減やコミュニケーションにおける課題の解決に寄与し、誰もが働く幸せと喜びを感じられる社会の実現につなげてまいります。

■ バイトルトークについて

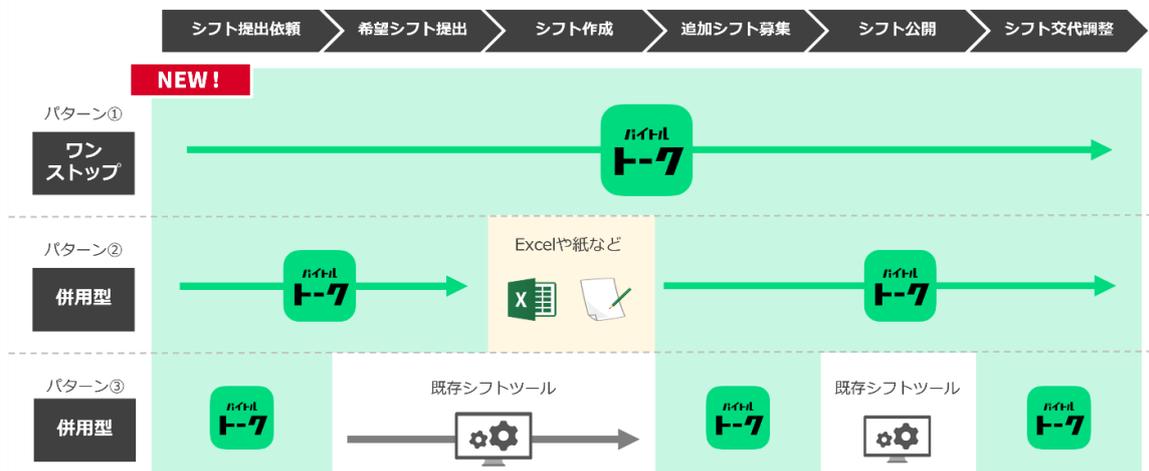
アルバイト従業員と店舗管理者のコミュニケーションを改善するアルバイトコミュニケーションアプリで、安心・安全なアルバイトの連絡、ストレスのないシフト調整を行えるプラットフォームを無料で提供してい

ます。

バイトルトーク：<https://www.baitoru.com/solution/baitoru-talk/>

▼シフト作成機能

アルバイト従業員からの希望シフト収集、確定シフトの作成・公開までが一貫して行えるようになりました。これまで別々のツールや紙で行われていたシフト作成を全てバイトルトークに集約することで、アルバイト従業員・店舗管理者の双方の負担を軽減し、効率的にシフト作成や欠員募集を行うことができます。



【特徴1】希望シフト提出からシフト作成・確定シフト公開までをシームレスに実現

アルバイト従業員はスマートフォンアプリから希望シフトを提出。

管理者は、Web 管理画面で集めた希望シフトを元にシフト作成作業ができ、確定シフトをアプリ内の掲示板に公開することが可能です。

バイトルトークでのシフト作成の流れ

- 01 アプリからシフトの希望を提出
- 02 回収した希望を編集してシフトを作成
- 03 作成したシフトをアプリで共有



【特徴2】欠員・過不足の「リアルタイム可視化」※今夏リリース予定

時間帯ごとの適正人数に対して、現在の配置人数が「何名不足しているか」を視覚的に表示します。

これにより、シフト作成時に欠員人数を把握でき、すぐに募集や調整を行う事で欠員リスクを防止します。

ディップ株式会社概要 (<https://www.dip-net.co.jp/>)

ディップ株式会社は、労働市場における諸課題を解決し、誰もが働く喜びと幸せを感じられる社会の実現を目指す“Labor force solution company”をビジョンに掲げ、人材サービス事業と DX 事業を運営しています。企業理念「私たち dip は夢とアイデアと情熱で社会を改善する存在となる」のもと、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

社 名：ディップ株式会社 (dip Corporation)

代 表： 富田 英揮 (代表取締役社長 兼 CEO)

本 社：東京都港区六本木 3-2-1 六本木グランドタワー31F

電 話：03-5114-1177 (代表)

設 立：1997 年 3 月

資本金：1,085 百万円 (2025 年 2 月末現在)

従業員数：2,780 名 (2025 年 4 月 1 日現在の正社員) ※契約・アルバイト・派遣社員除く

事業内容：人材サービス「バイトル」「スポットバイトル」「バイトルNEXT」「バイトルPRO」「はたらこねっと」、看護・介護業界の転職支援サービス「ナースではたらこ」「介護ではたらこ」などの運営、DX サービス「ロボット」の開発・提供、他

上場証券取引所：東京証券取引所 (プライム市場)

売上高：563 億円 (2025 年 2 月期)

株式会社アイリッジ 概要 (<https://iridge.jp/>)

株式会社アイリッジは、スマートフォンアプリを活用した企業の OMO (Online Merges with Offline) 支援を軸に、リテールテック、フィンテック、MaaS 等の DX を推進しています。アプリビジネスプラットフォーム「APPBOX」をはじめ月間アクティブユーザー数 1 億超のプロダクトを提供するとともに、グループ会社の Qoil と連携したビジネスプロデュースにより、戦略立案から開発、マーケティング施策までを一気通貫で支援します。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社アイリッジ 広報担当 Email：pr@iridge.jp TEL：03-6441-2325